

第1回身延線鉄道唱歌普及会議

- 日 時 平成28年10月8日(土) 19:00~20:30
- 会 場 富士宮駅前交流センター
- 次 第
- 1 開会のことば
 - 2 出席者紹介
 - 3 会長挨拶
 - 4 作詞者挨拶
 - 5 事業報告
 - 1) 経緯説明
 - 2) 報道記事等
 - 3) ホームページ紹介
 - 4) 写真動画等応募状況
 - 5) 本唱歌正式合唱団(富士宮女声合唱団)の状況
 - 6) 諸団体・個人の協力(JR、富士宮歩こう会、村瀬さん他)
 - 6 協議
 - 1) 今後の予定(案)
 - (ア) 動画化 (イ) 山梨県側
 - 2) 1月29日(日)10:00~ お披露目会の件
動画映像披露、合唱披露、CD配布、講演2題
 - 3) その他

出席者(敬称略)

NO	氏名	備考
1	小澤 肇	作詞者 91歳 南部町出身、富士市在住、山梨県自分史大賞受賞
2	窪田 信子	富士宮女声合唱団指揮者、南富士病院専務理事・事務長、文筆家等
3	戸上 千鶴子	富士宮女声合唱団 幹事長
4	村瀬きょうこ	ボランティアシンガー、子育て支援講座企画・ファシリテーション等
5	深澤 竜介	市会議員、(本事業)アドバイザー
6	川上 数仁	ビデオ映像等制作専門家、
7	倉田 佑介	富士宮市教育委員会文化課 本事業協働担当
8	四本 泰久	(本事業)アドバイザー
9	櫻井 守	身延線鉄道唱歌の会会長、富士宮歩こう会会長、元富士宮駅長等
10	松田 壽久	身延線鉄道唱歌の会事務局長、大岩3区まちづくりプロジェクト代表
11	佐野 徹	大岩3区まちづくりプロジェクト、下部町出身
12	渡井 勝士	大岩3区まちづくりプロジェクト、小澤氏防衛関係知己
13	遠藤 彰	大岩3区まちづくりプロジェクト、富士宮市立山宮小学校校長

【本日欠席】(敬称略)

- 1 須藤 秀忠 (富士宮市長、本事業顧問)
- 2 安倍 徹 (前静岡県教育長、静岡県N I E推進協議会会長、本事業アドバイザー)
- 3 増田 敏幸 (富士宮歩こう会企画部長、身延線鉄道唱歌ボーカロイド版作成)

会議内容報告

- 1 出席者：レジメ通り 13 名。
- 2 報告事項
 - 1) 会結成経緯等
 - 2) 報道資料
 - 3) これまでの歌唱例
(介護施設で、イベント (小澤氏敬老会等)、バス旅行中、合唱団練習等)
 - 4) 会ホームページ紹介 (ボーカロイド歌唱、村瀬きょうこさん歌唱の動画紹介)
 - 5) 応募写真紹介 (募集期間を 10 月一杯に延期)
 - 6) 村瀬さん歌唱実演 (ギターで、全 18 番、車掌アナウンス付き)
- 3 協議 (主たる意見)
 - 1) きらら (集会室) でのお披露目では、先ほど見てきたが、音響、キャパの面でよくない。もっと大人数で入るところでお披露目をやりたい。
 - 2) (その場で調べたら) 芝川文化会館なら空いている。芝川は音響は良い (合唱団)
 - 3) できれば、一度芝川で事前にビデオ撮りして、それを動画に入れたらどうか。
 - 4) 動画は、富士宮ビデオクラブなどに依頼して、撮ってもらったらどうか。
 - 5) 富士宮駅前の十六市、男女共同参画の諸イベント、市役所ランチタイムコンサート、芸術祭などに合唱団や村瀬さんは出演することがあるので、その折に出席者みんなが歌うようにすることはできる。
 - 6) 富士宮の社会科資料「ふじのみや」で紹介する。(遠藤山宮小校長=社会科)
 - 7) できれば、山梨側の人にも来て歌って欲しい。(市教育長を通じてお願いできれば)
 - 8) 動画では各市町のゆるキャラ、人などが登場すればヒット数は増える。
 - 9) 狭南女性センター等、もっと女性の力を借りるべき。
 - 10) 1 月 29 日 (日) のメインは、歌披露 (合唱団)、講演 (「歌とまちの元気」、講演「映像発信とまちの元気」の 3 本立てである。そのうち、歌披露は富士宮女声合唱団に、講演「歌とまちの元気」は窪田信子氏にお願いする。今後、「映像発信とまちの元気」の講師を早急に選定する。
 - 11) 富士宮駅前の広場 (2 階市街への通路) でゲリラ的に歌ったら?
- 5 事務局より
 - 1) 諸意見を検討し、できることは実行。皆さんに後日お知らせする。
 - 2) 期間の面、予算の面で、今年中に諸意見を取り入れた映像作成などとなると全面实施は厳しいこともある。
 - 3) 配布用 CD と配布用歌詞は今後作る。配布用 CD には、富士宮女声合唱団版、村瀬きょうこさん版、ボーカロイド版の 3 つのタイプの歌唱を入れる。
 - 4) 普及によるまちの活性化が主目的。普及機会拡大をお願いしたい。

その他

会議後、合唱団側から、芝川文化会館は遠いので遠慮したい、できれば市民文化会館でなんとかならないか、と打診があった。「きらら」は実際の場所を見てみたら、天井が低く、狭すぎて音響的にも合唱用には不向きかもしれないとの指摘があった。合唱連盟の人たちにも呼び掛けて参加してもらおうつもりである、とのこと。